

人民币週間レポート

2025年8月1日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO

瑞穗銀行

【人民元為替概況】

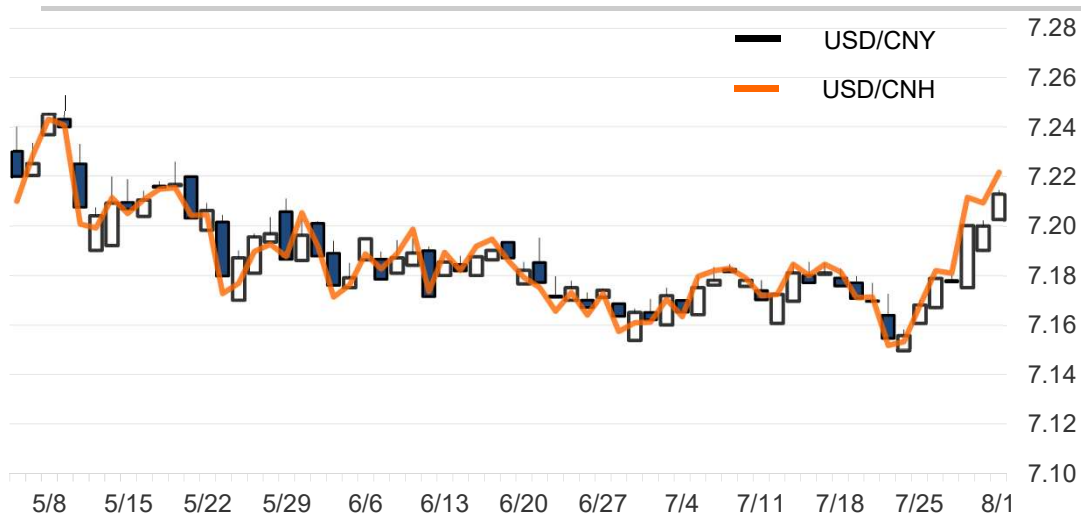
回顧: 主要中銀イベントをこなしドル高が進行

- ドル人民元(USDCNY)は28日、7.16台後半でオープン。週末に米欧間の関税交渉が合意に至ったことを受け、リスクセンチメント改善に伴う全般的なドル高の流れから7.17台後半まで上昇。29日は「中米間の関税導入の停止期間延長合意」と報じられたものの、翌日にFOMCを控えて動きづらい展開。30日は米第2半期GDPが市場予想を上回ったことに加え、FOMC後の記者会見でのパウエルFRB議長の発言がタカ派と捉えられ、ドル高の動きとなると7.20まで上昇した。31日は中国7月製造業PMIが市場予想を下回る結果となるも反応は限定的で、7.19台でのレンジ推移となった。翌8月1日午前11時現在、7.20台後半にて推移。
- 円人民元(JPYCNY)は28日、4.85近辺でオープン。ドル高の流れの中で円安が進む展開に、JPYCNYは4.83台まで下落。30日は米第2四半期GDPおよびパウエルFRB議長の発言を受け、ドル円が149.50近辺まで上昇する中、JPYCNYは4.81台まで続落。31日は日銀金融政策決定会合が開催され、政策金利は市場予想通り据え置かれたものの、植田日銀総裁の記者会見において、今後の利上げに対し想定よりも前向きな発言が見られなかったため、ドル円は節目となる150円を上抜けて150円台後半まで上昇。こうした動きを受けてJPYCNYは4.77台半ばまで一段下落した。翌8月1日午前11時現在、4.78台にて推移している。

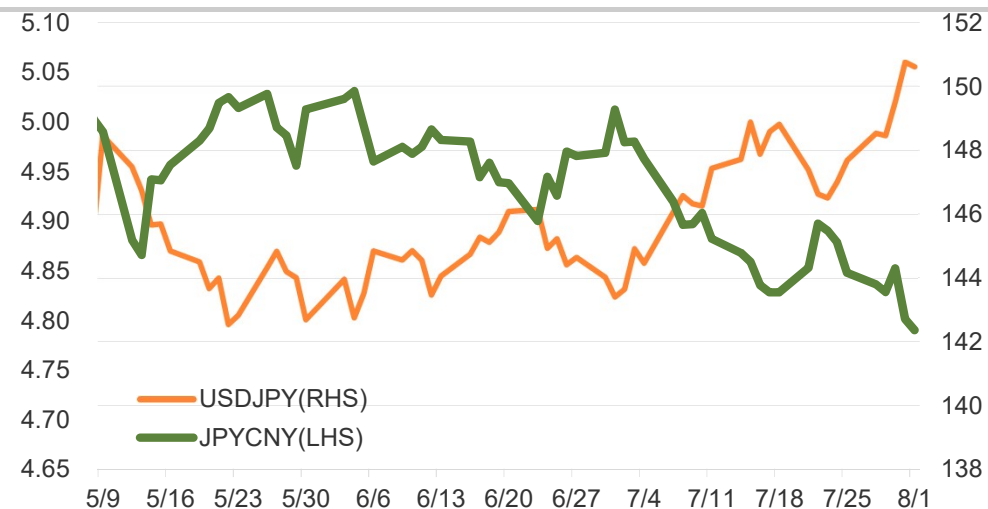
見通し: 米利下げ織り込み次第では引き続きドル高人民元安地合継続か

- 第3回中米閣僚級通商協議をこなし、8月12日期限の追加関税適用一時停止措置延長の方向で両国足並みが揃いつつある中、引き続き関税関連のヘッドラインには警戒が必要だが、足元は小休止の雰囲気もあり、来週の人民元相場は安定的な推移を予想する。
- 一方で、今週FOMCを通過し、パウエルFRB議長より今後の利下げは引き続き経済データ次第で、急がない姿勢が示されたことで、市場参加者間で年内利下げ織り込みが低下している状況。来週以降も米国の経済指標を確認しながら、一喜一憂する展開が想定され、利下げ織り込みが一段剥落する流れとなれば、引き続きドル買い優勢の地合が継続するものと予想する。まずは今週金曜日(8/1)に発表が予定される米7月雇用統計・失業率、米7月ISM製造業景況感指数、米7月ミシガン大学消費者マインドなどの経済指標の結果に注目したい。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



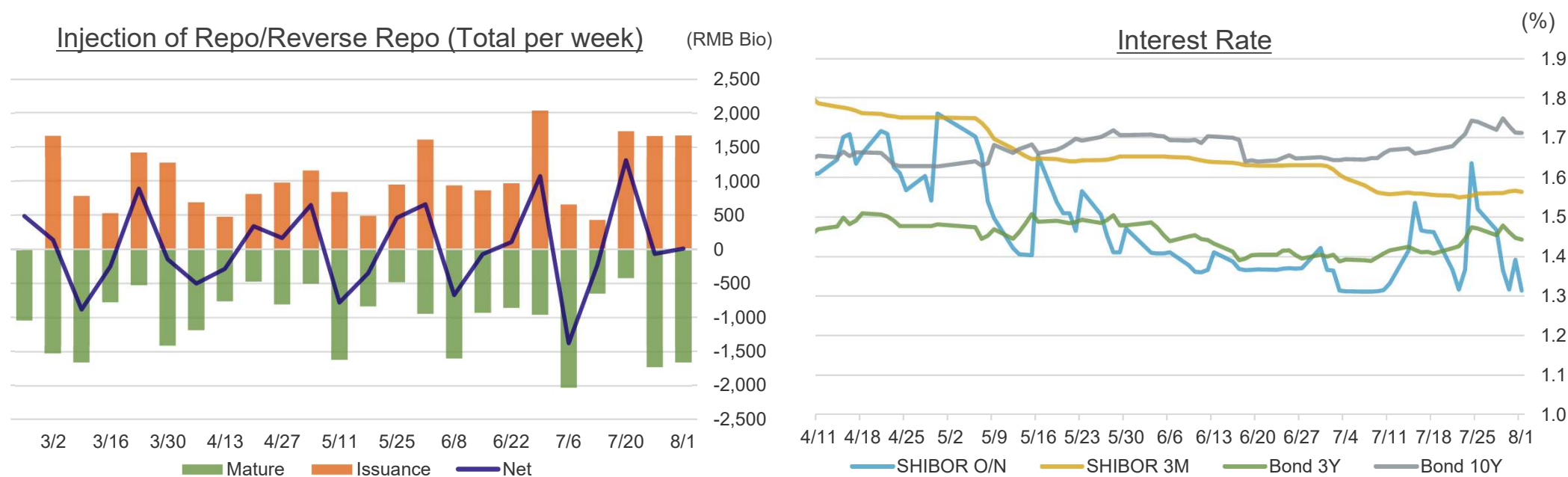
【人民元金利概況】

回顧: 大口資金供給によりO/N金利は低下

- PBOCは7日物リバースレポにより合計1兆6,632億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで69億元の資金供給となった。短期資金市場は月曜日から水曜日までにPBOCよりネットで7,180億元の大口資金供給が行われたこと等、O/N金利は1.3%近辺まで低下。31日こそ478億元の資金吸収となり、また一部月末特有の動きなども見られたものの、総じて流動性は安定している状況。
- 債券市場は、短期資金流動性が改善したことや、株価が上値重く推移したことなどを受け堅調に推移し、特に長期ゾーンを中心に金利低下する動きとなった。

見通し: 中国CPIなどの経済指標に注目

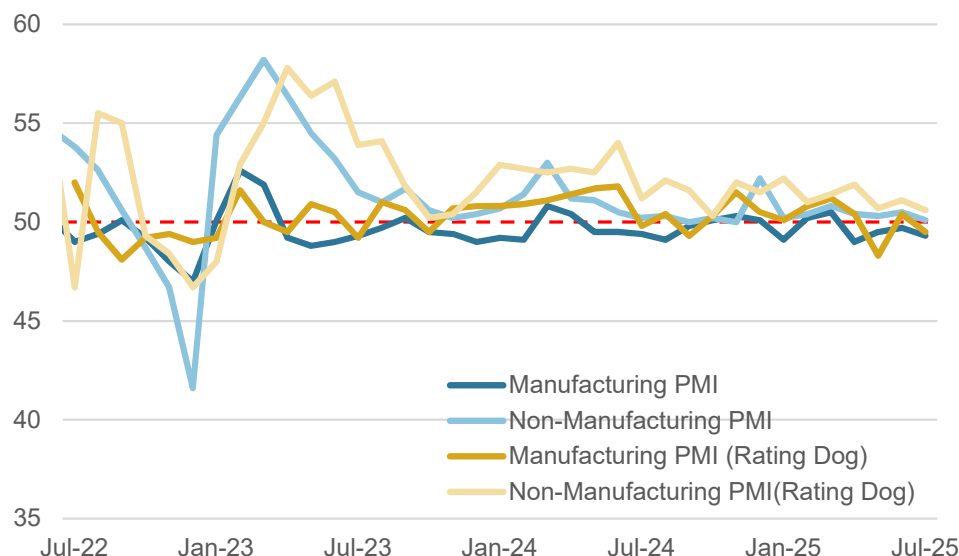
- 7月30日に中央政治局会議が開催され、金融政策については、引き続き「適度に緩和的な金融政策」の方針が確認された。追加的な景気刺激策がすぐに打ち出されるとの見方は後退しつつあるものの、引き続き政策動向には注目していきたい。
- 前週、一時流動性がタイト化しO/N金利が約2か月ぶりの水準まで上昇した短期資金市場であったが、今週はPBOCによる潤沢な資金供給オペ等から、安定している状況。月末を跨いだことや、PBOCの緩和的な政策スタンスに変化は見られないこと等から、引き続き安定的な推移を予想する。
- 今週米第2四半期GDPおよびFOMC・日銀金融政策決定会合などの中銀イベントをこなし、来週は7日に中国7月貿易収支、9日に中国7月CPI/PPI、5日に米7月ISM非製造業景況感指数の発表などが予定されている。



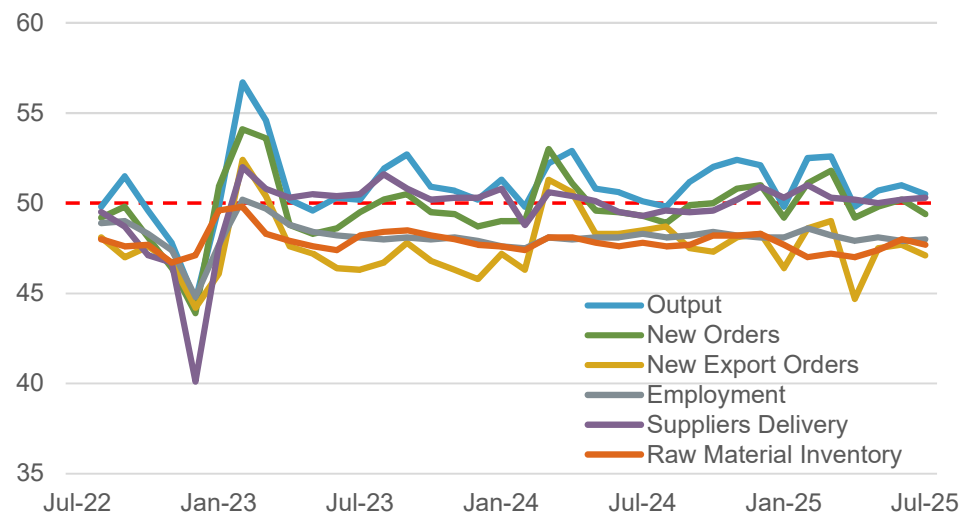
【TOPICS】 中国 7月PMIが公表

- 7月31日、中国国家統計局は7月PMIを発表。製造業PMIは49.3(予想: 49.7、前回: 49.7)、非製造業PMIは50.1(予想: 50.2、前回: 50.5)となった。また、8月1日には民間指標のRatingDog中国PMI(旧財新PMI)が公表され、製造業PMIが49.5(予想: 50.2、前回: 50.4)となった。なお、RatingDog中国非製造業PMI(旧財新非製造業PMI)は8月5日に発表予定。
- 国家統計局製造業PMIについて、4か月連続で50を下回り、前回6月対比でも悪化する結果となった。項目別では、新規受注が49.4と節目となる50を下回る(前回: 50.2)など、全般的に軟調な内容。企業規模別では、中堅企業でやや改善したもの、大企業・中小企業では悪化する結果となった。
- 7月末に3回目の中米通商協議が開催され、中国側から追加関税一時停止措置の期限延長が報じられるも、依然として不透明感が残る中、今後景況感が持ち直す方向となるか注目したい。

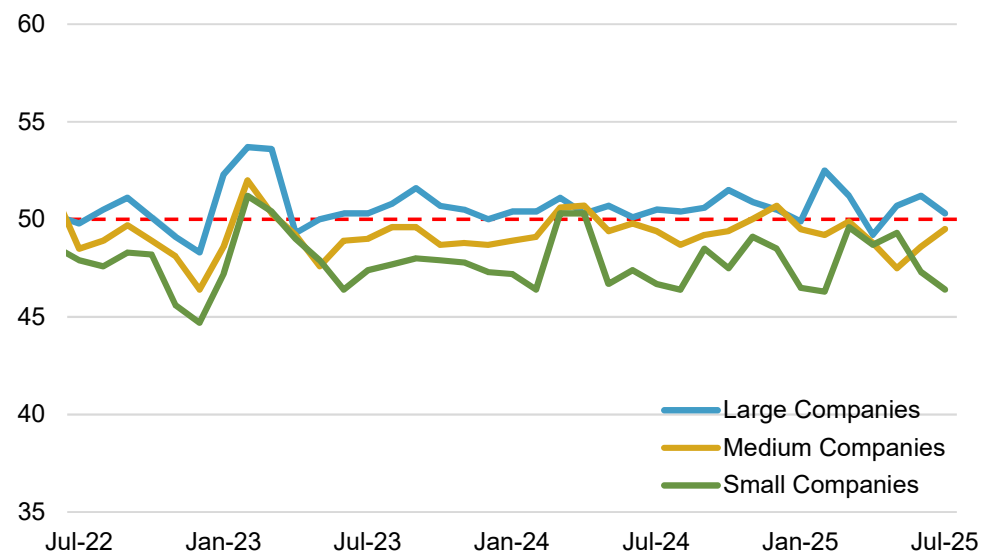
PMI(国家統計局及びRatingDog)



製造業PMI 主要項目推移



企業規模別 製造業PMI



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
7/28	7.1670	7.1790	7.1670	7.1729	7.1467
7/29	7.1780	7.1799	7.1742	7.1765	7.1511
7/30	7.1750	7.2000	7.1732	7.1823	7.1441
7/31	7.1900	7.2021	7.1900	7.1930	7.1494
8/1	7.2024	7.2144	7.2008	7.2106	7.1496

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
7/28	7.1674	7.1829	7.1627	7.1819	7.1689
7/29	7.1819	7.1849	7.1772	7.1808	7.1780
7/30	7.1808	7.2146	7.1753	7.2113	7.1781
7/31	7.2113	7.2127	7.1959	7.2091	7.1993
8/1	7.2091	7.2227	7.2058	7.2214	7.2155

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	7/28	LOW	HIGH	8/1
ON	1.4670	1.3150	~	1.4670
1M	1.5490	1.5490	~	1.5490
3M	1.5600	1.5600	~	1.5630
6M	1.6130	1.6100	~	1.6100
1Y	1.6420	1.6420	~	1.6450

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	7.1670	7.2144	7.1670	7.2106
100JPY/CNY	4.8524	4.8555	4.7763	4.7901
EUR/CNY	8.4298	8.4302	8.2064	8.2294
HKD/CNY	0.91351	0.91895	0.91317	0.91890
GBP/CNY	9.6377	9.6377	9.4968	9.4968

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	147.76	150.92	147.52	150.75
EUR/USD	1.1775	1.1779	1.1401	1.1415
EUR/JPY	173.48	173.97	169.73	172.08
GBP/USD	1.3436	1.3453	1.3161	1.3207
AUD/USD	0.6560	0.6586	0.6422	0.6425

(数据来源: Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穗銀行